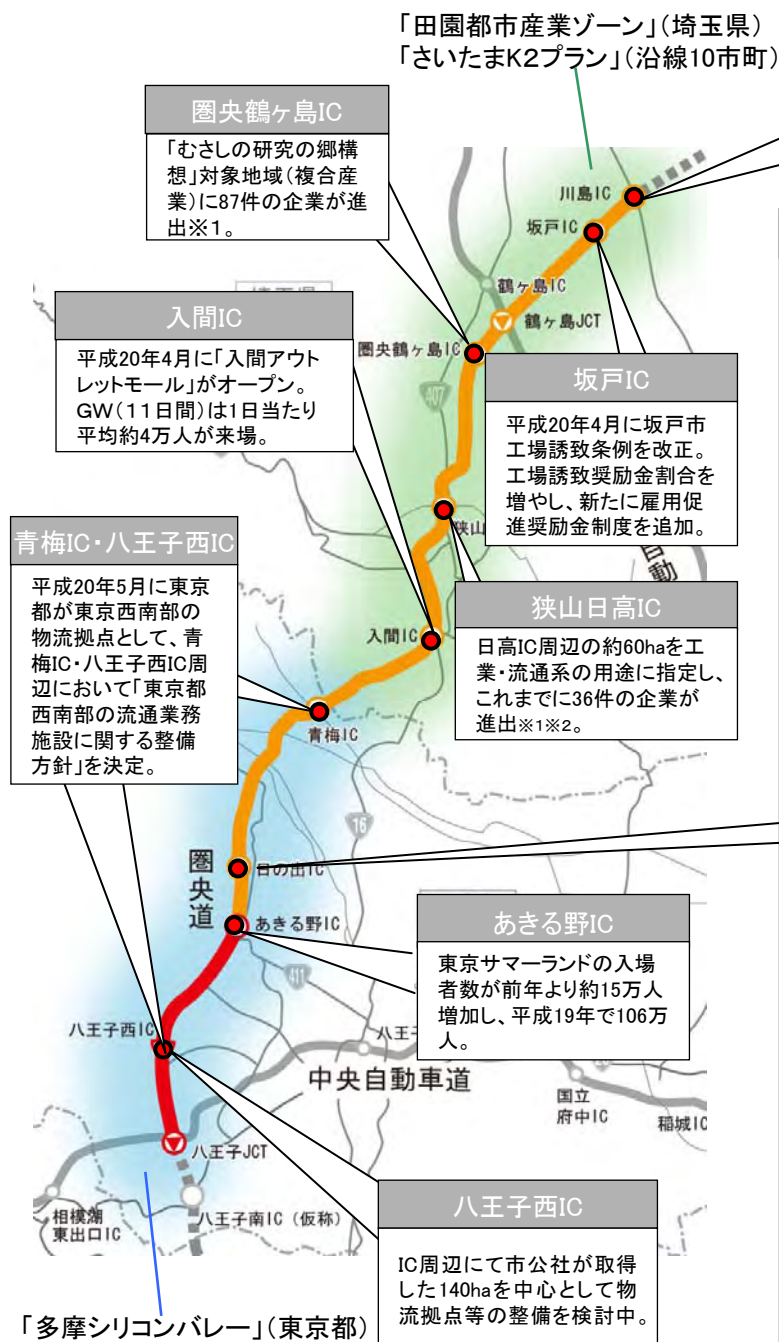


■地域の産業の活性化や雇用の創出に貢献しています。

- ・圏央道沿線では、自治体による企業誘致・雇用促進に向けた取り組みやIC周辺における物流拠点の整備が行われています。
- ・圏央道の整備が大型店舗の出店の契機になり、圏央道の開通により多くの方が来訪しています。
- ・圏央道沿線地域への企業の立地や大型店舗の出店により地域の雇用が創出され、周辺市町村の活性化に貢献しています。



※1 平成20年7月1日時点
※2 日高市・狭山市のみ

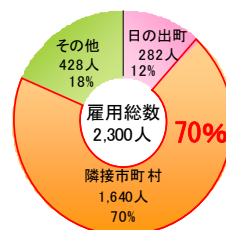
日の出IC

圏央道整備(IC設置)が出店の契機

- ・商圈は30分圏が目安
- ・現在、広域からの集客もにらみ、開業案内を高速道路IC周辺やSA・PAで展開

地域雇用の創出に大きく貢献

- ・2,300人の雇用を創出
- ・日の出町のみならず、周辺市町村の雇用創出にも貢献(隣接地域へ効果が波及)
⇒雇用総数の70%の方が隣接市町村



地域の活性化に寄与

- ・開業以降、1日約2~3万人が来場
⇒来客者の約8割は自動車による来場



出典:イオンモール日の出ヒアリング結果

・圏央道・物流拠点の整備に対する地元の声

- ・圏央道が“見える状態”でつながり、発展性・可能性が具体化し、実施の準備段階に移行
- ・八王子の物流計画は、首都圏の物流拠点の位置づけで考えている
- ・物流拠点計画が事業化すれば、地域にも大きなビジネスチャンスが発生

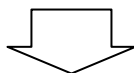
出典:八王子商工会議所ヒアリング結果

■東京都は、製造業や研究・開発機能、物流機能の集積を目指し、圏央道沿線で支援プランを策定しています。(取り組み紹介)

■多摩シリコンバレー(東京都)

【基本方針】

東京都は、平成18年12月に「10年後の東京」を策定。多摩地域が都域を越えた首都圏の中核拠点として発展するために、交流機能の強化を図るとともに、地域特性を踏まえた企業集積の促進を目指す。



多摩シリコンバレーの形成

【取り組み】

「10年後の東京」への実行プログラム2008

①企業立地を促進する新たな融資制度等の設立

- ・区市町村の企業誘致の取り組みを支援(3年後に創造的都市型企業を20社創出)
- ・工場等の新增設に対し、長期かつ低利な融資メニューを創設(3年間の融資総額は60億)

②研究開発を支える多摩産業支援拠点を開設

- ・多摩地域に新たな産業支援拠点を整備(支援拠点を平成21年度に開設)

③産学・産産連携を促進する交流拠点の整備

- ・都域を越えた産学・産産連携を促進する新たな産業交流拠点整備に向けた調査の実施(3年後には整備方針を決定) ※()内は目標値

